

アルティオン専用電気錠

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

■梱包明細書

①電気錠セット

| 名 称 | 員 数 | |
|--------------------|-----|----|
| | 片錠 | 両錠 |
| 片錠本体 | 1 | — |
| 両錠本体 | — | 1 |
| 錠本体(外)組付ネジ M4×25サラ | 3 | 6 |
| 錠本体(内)組付ネジ M4×8サラ | 2 | 4 |
| キー | 3 | 3 |
| 門内施解錠押ボタン | 1 | 1 |

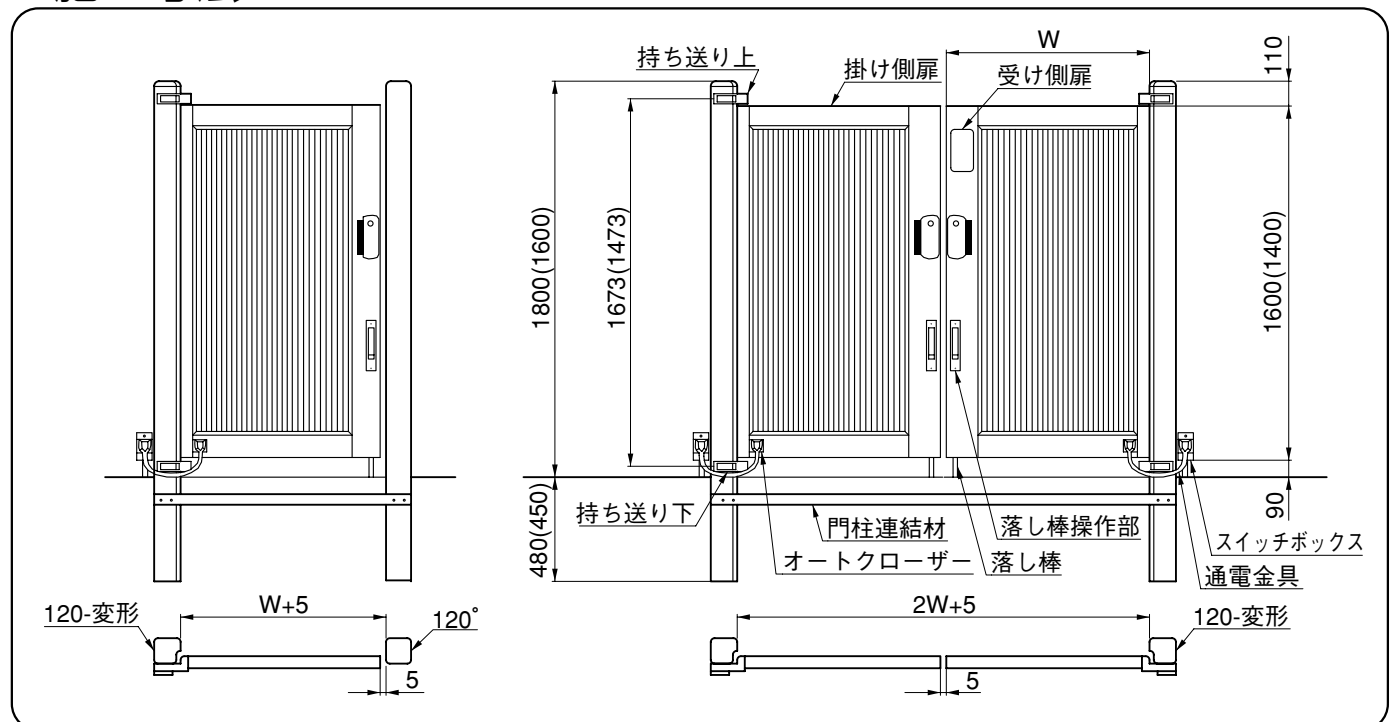
| 名 称 | 員 数 | |
|--------------------|-----|----|
| | 片錠 | 両錠 |
| 防滴プレート | 1 | 1 |
| スイッチボックス | 1 | 2 |
| スイッチボックス(防滴プレート用) | 1 | 1 |
| 落とし棒受け | 1 | 2 |
| 戸当り取付ネジ φ4×10トラス3種 | 4 | 8 |

②門柱

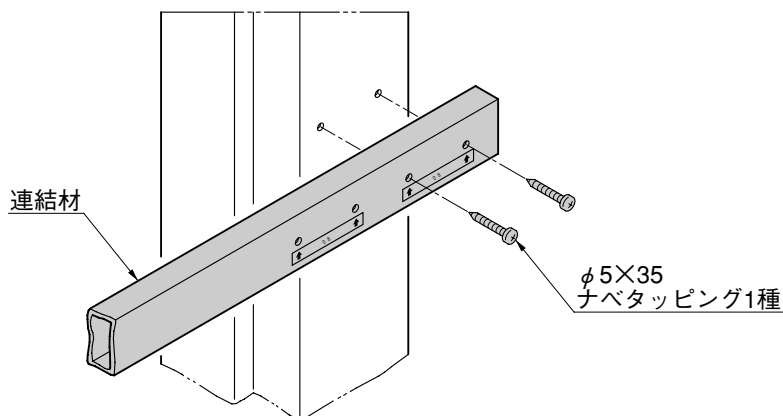
| 名 称 | 員 数 | | | |
|-------------|-------------|----|----|---|
| | 片右 | 片左 | 両錠 | |
| 吊元柱(右) | 1 | — | 1 | |
| 吊元柱(左) | — | 1 | 1 | |
| 受け柱(右) | 1 | — | — | |
| 受け柱(左) | — | 1 | — | |
| 柱連結材(片) | 1 | 1 | — | |
| 柱連結材(両) | — | — | 1 | |
| 部 品 箱 | 持ち送り 上(右) | 1 | — | 1 |
| | 持ち送り 上(左) | — | 1 | 1 |
| | ピボット下用スペーサー | 1 | 1 | 2 |
| | クローザー用持ち送り | 1 | 1 | 2 |
| | クローザー受け | 1 | 1 | 1 |
| | 受け側持ち送り軸 | — | — | 1 |

| 名 称 | 員 数 | | | |
|-------------|-------------------------------|----|----|---|
| | 片右 | 片左 | 両錠 | |
| 部 品 箱 | 持ち送りカバーA | 2 | 2 | 4 |
| | 受け側持ち送り軸パイプ | — | — | 1 |
| | スペーサー板A | 4 | 4 | 8 |
| | 持ち送り取付ボルト M10×35六角ボルト | 4 | 4 | 8 |
| | 持ち送り取付歯付座金 | 4 | 4 | 8 |
| | クローザー受け、持ち送り軸取付ボルト M6×35六角ボルト | 2 | 2 | 4 |
| | クローザー受け、持ち送り軸取付バネ座金 M6用 | 2 | 2 | 4 |
| | 持ち送りカバーA取付ネジ M4×20サラ | 2 | 2 | 4 |
| | 柱連結材取付タッピング φ5×35ナベ1種 | 4 | 4 | 4 |

1.施工寸法



2. 門柱連結材の取付け

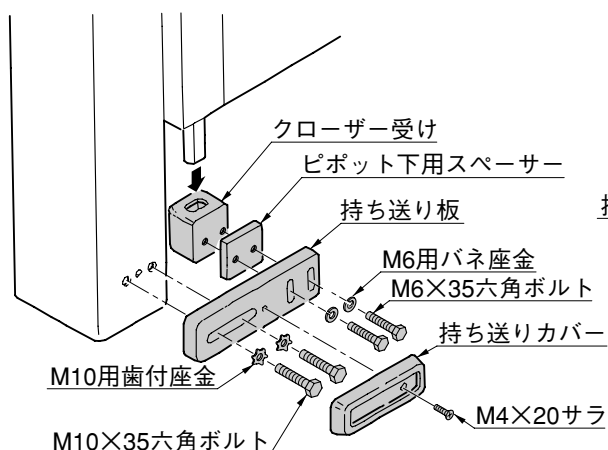


扉のサイズに合わせて、門柱と門柱を柱連結材でつなぎます。片開きの時は吊元柱で、両開きの時は両方の柱で調節します。

3. 下部持ち送りの取付け

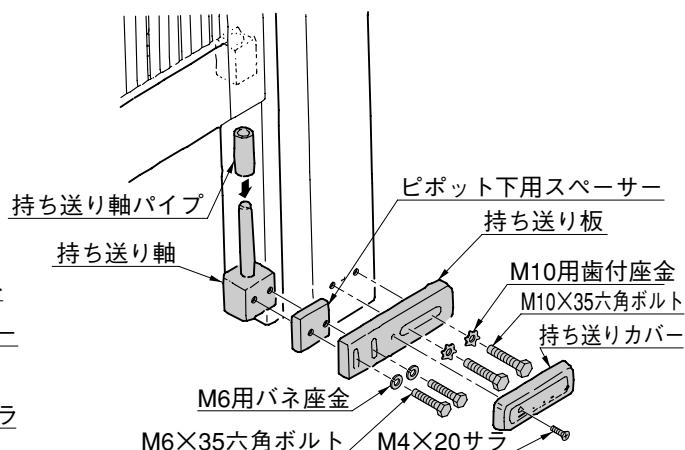
3-1. 片開き吊元、両開き掛け側吊元

門柱が固まったらはじめに、下部の持ち送りから取付けます。持ち送りを取付けたら、掛け側扉の突起をクローザー受けに差込むようにして扉をのせます。

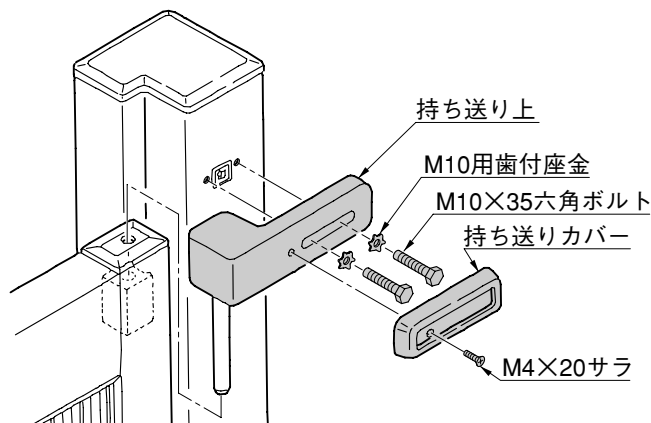
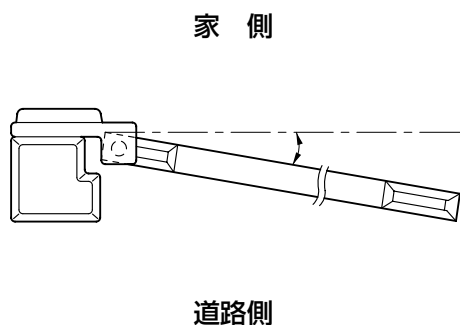


3-2. 両開き受け側吊元

両開きの受け側は、下図のように持ち送り部品を取付けます。持ち送りを取付けたら、受け側扉の軸受けに持ち送り軸を差込むように扉をのせます。



4. 上部持ち送り取付け



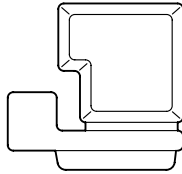
受け側扉をクローザー受けにのせる時は、扉をやや道路側に開きぎみにしてください。

柱に上部持ち送りを取付けます。持ち送りには左右があるので、シールで確認して取付けてください。

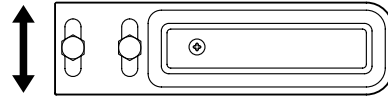
5.扉の調整

5-1.前後の調整

スペーサー板を門柱と持ち送りの間にに入れて調整してください。 下部、持ち送りのM6六角ボルトで、調整してください。



5-2.上下の調整



6.勝手の変更

勝手変更

本セットは、右勝手内開き用になっています。扉の勝手が、右勝手内開き以外の場合には、下記の勝手変更方法にしたがって、錠本体、ハンドル座の勝手を変更してください。

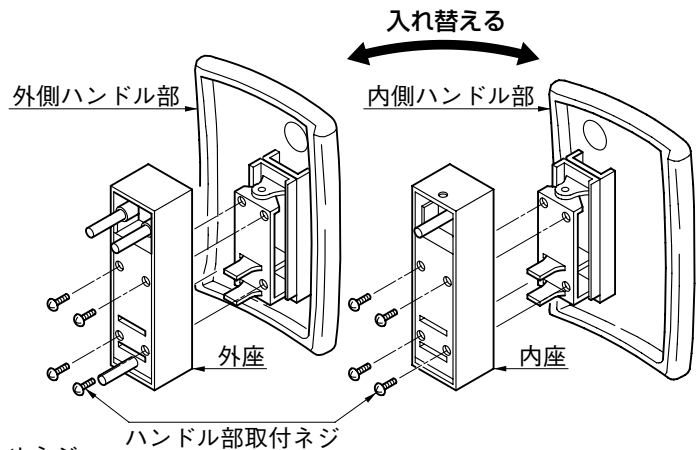
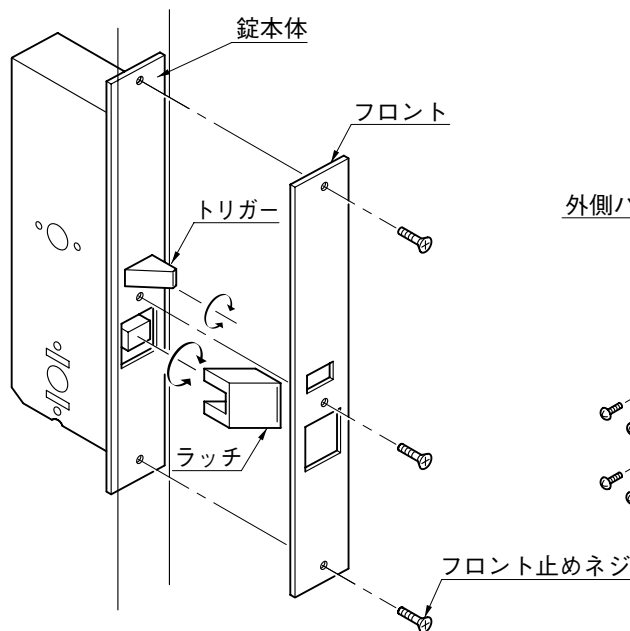
A.錠本体の勝手変更方法

- 1) フロント止めネジ(M4×8⊕サラ)をゆるめ、フロントを外してください。(ラッチを落とさないように注意してください。)
- 2) ラッチを抜き取り、向きを変えて差込んでください。
- 3) トリガーは回して向きを変えてください。
- 4) 再び、フロントを取付けてください。

B.ハンドル座の勝手変更方法

- 1) 外ハンドル座、内ハンドル座共、ハンドル取付ネジ(M4×8⊕サラ)4本をゆるめ、ハンドル部を取外してください。
- 2) 外側のハンドル部を内座に、内側のハンドル部を外座に取付けてください。

注) 両開きセットの場合、固定ハンドル座も同様に内、外のハンドル部を入れ替えてください。



勝手変更方法

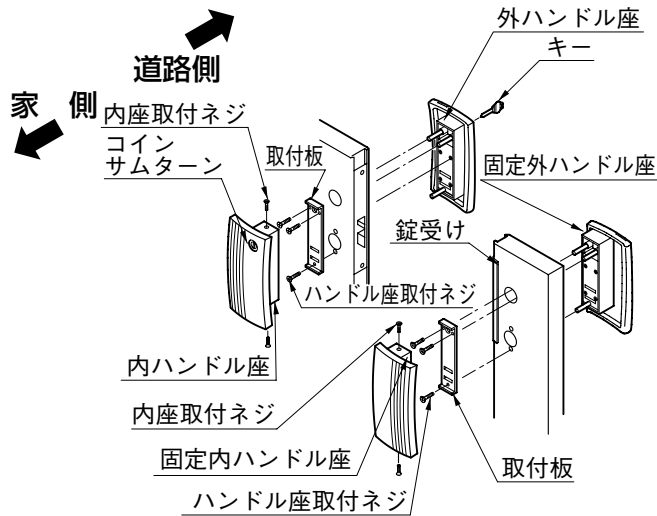
下の表にしたがって、勝手を変更してください。

| 扉の勝手 (図は扉を上から見た図です) | 勝手変更 |
|---------------------|--------------------------------------------------|
| <p>右勝手内開き</p> | <p>勝手変更不要。 そのまま取付けてください。</p> |
| <p>左勝手内開き</p> | <p>上記(A)、(B)にしたがって、錠本体および、ハンドル座の勝手を変更してください。</p> |

※外開きで180度開けたい場合は、柱の裏面を道路側に施工してください。

7.錠の取付け

両開き



錠本体取付け

錠本体を本体取付けネジ(M4×12⊕サラ)2本で扉に取付けてください。

外ハンドル座取付け

扉外側から外ハンドル座を差込み、扉内側から取付板をあてハンドル座取付ネジ(M4×25⊕サラ)3本で取付けてください。

注)キーを抜いた状態で取付けてください。

内ハンドル座取付け

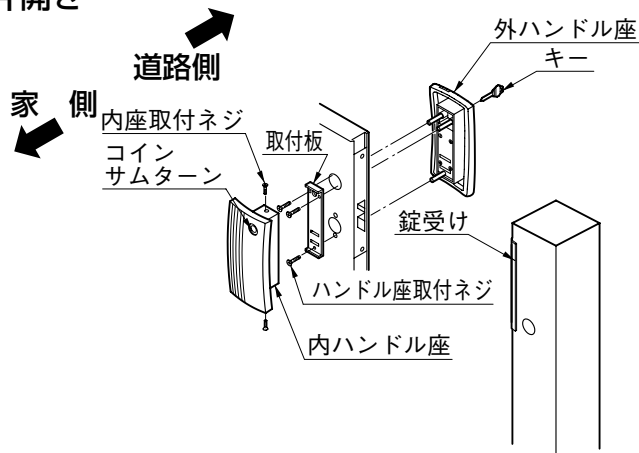
内ハンドル座のコインサムターンの溝が、解錠時、横向きになるように差込み、内座取付ネジ(M4×8⊕サラ)2本で取付けてください。

受座取付け

受座、箱受を受座取付ネジ(M4×12⊕サラ)2本で取付けてください。

注)受座と錠本体のすき間は12mm以下にしてください。

片開き

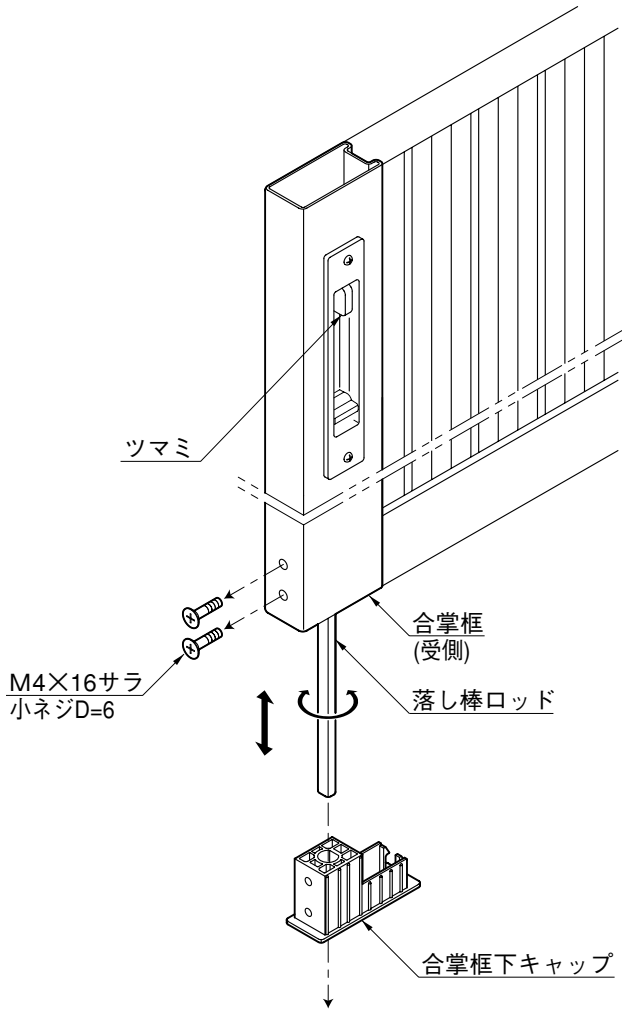


固定ハンドル座取付け [両開きセットの場合のみ]

扉外側から固定ハンドル座を差込み、扉内側から取付板をあてハンドル座取付ネジ(M4×25⊕サラ)3本で取付けてください。

次に、固定内ハンドル座を内座取付ネジ(M4×8⊕サラ)2本で取付けてください。

8. 落とし棒の調整



落とし棒の操作

- ツマミをヨコに向けると落とし棒を上下することができます。
- ツマミをタテにすると落とし棒は固定できます。

注) 落とし棒を落した時、上げたままにする時はつまみをタテにして、落とし棒を必ず固定してください

落とし棒の調整

- 落とし棒を落とし、つまみをタテにして固定したとき、落とし棒ロッド先端と落とし棒受け底面との間にすき間があるときは、以下の手順で高さ調整を行ってください。(図8-1参照)

調整方法

- 1) M4サラ小ネジD=6を外し、合掌框下キャップを外してください。
注) 合掌框下キャップを外すときは、キャップ裏面の「押」の部分(※2)を押しながら、キャップ全体を引き抜いてください。(図8-2参照)
- 2) 落とし棒ロッドを左右に回転させて、高さ調整を行ってください。
注) ツマミをタテにし固定した状態で高さ調整を行ってください。(※1)
- 3) 調整後、再び合掌框下キャップを取付けてください。
注) 合掌框下キャップを取付けるときは、キャップ裏面の「押」の部分(※2)を押しながら、キャップ全体を押し込んでください。(図8-2参照)

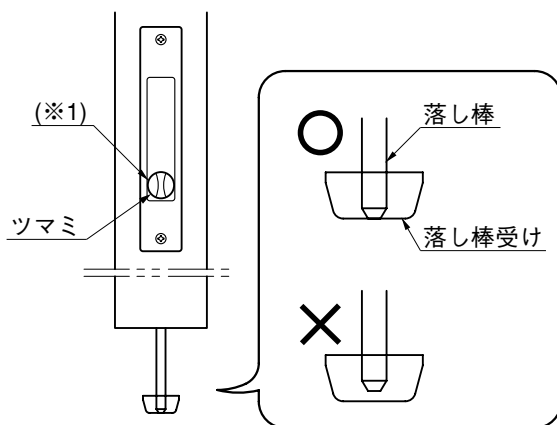


図8-1

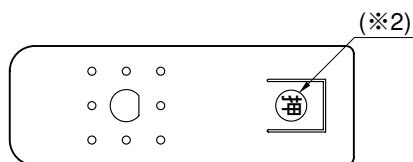
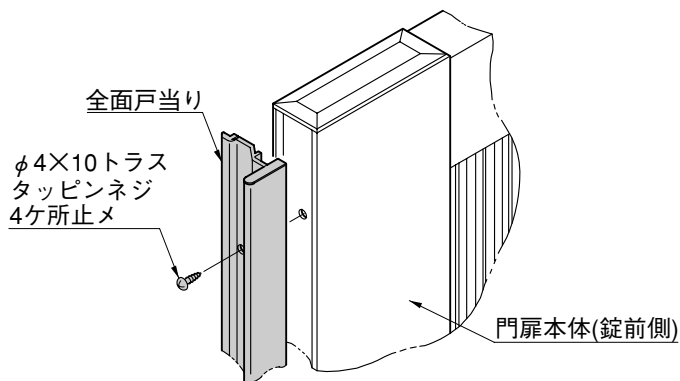


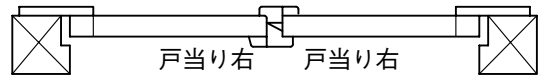
図8-2 合掌框下キャップ裏面

9. 全面戸当たりの取付け

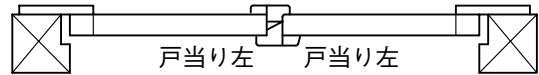


※戸当りは受け扉、掛け扉両方に取付けてください。

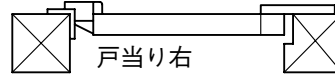
右勝手両開き



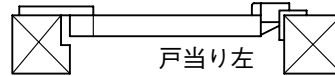
左勝手両開き



右勝手片開き



左勝手片開き



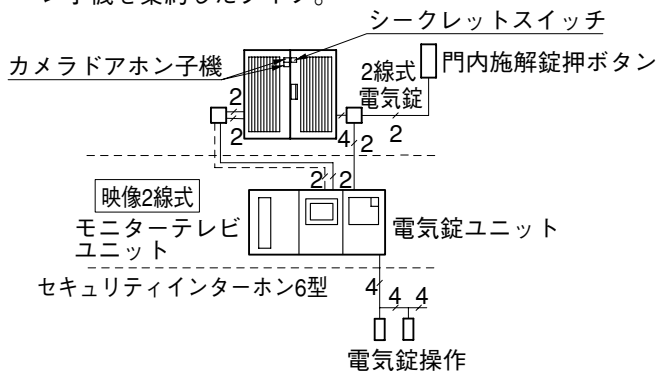
ここから先は、電気工事店様が行なってください。

10. 電気錠システム取付けおよび接続方法

システム図

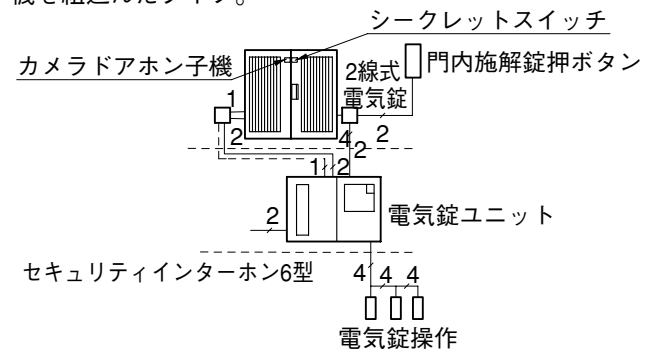
システムA

門扉に電気錠・シークレットスイッチ・カメラドアホン子機を集約したタイプ。



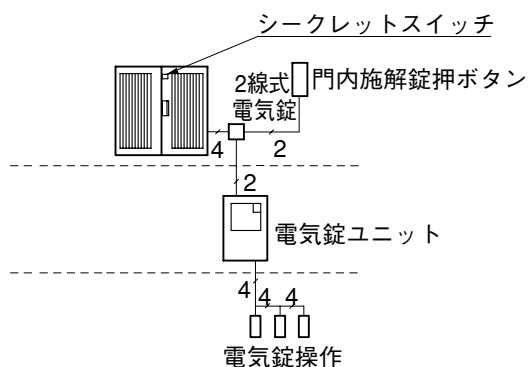
システムB

門扉に電気錠・シークレットスイッチ・カメラドアホン子機を組込んだタイプ。



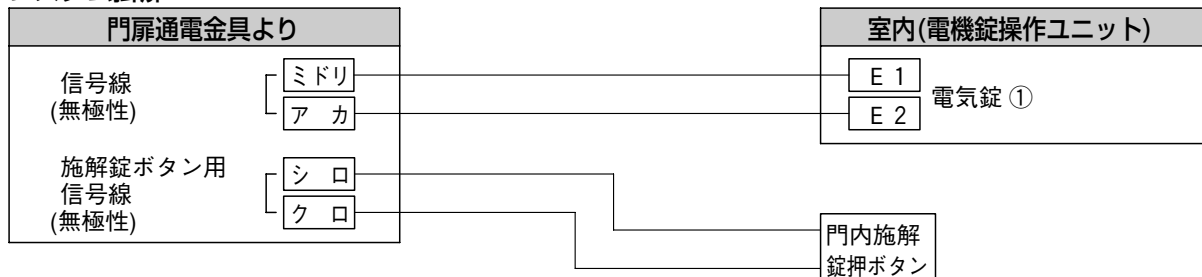
システムC

門扉に電気錠・シークレットスイッチを組込んだタイプ。

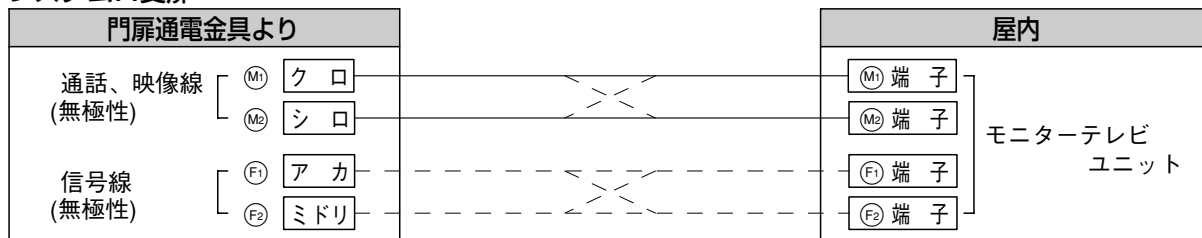


接続方法

システム掛扉

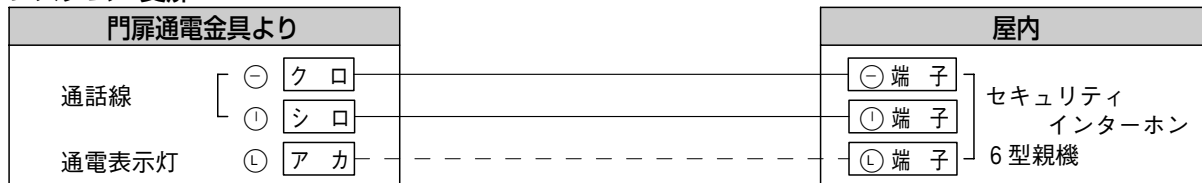


システムA受扉

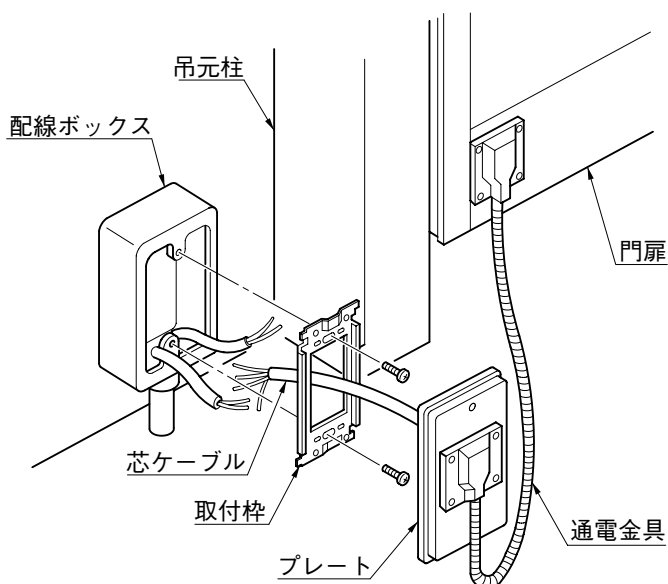


※通話、映像のみの場合、点線 --- の配線は不要です。

システムB受扉



※通話、映像のみの場合、点線 --- の配線は不要です。

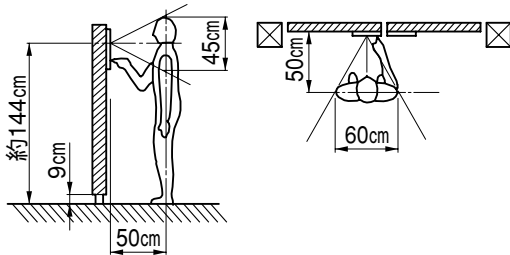


※電気錠操作ユニット(および電気錠操作ボタン)、モニターテレビユニット、インターホン6型等、室内機の取付け、接続方法等は、各室内機の取付説明書を必ずごらんください。

カメラドアホン子機のカメラ角度調整方法

カメラに映る範囲(H1600の門扉の場合)

カメラドアホン子機付門扉(CAタイプ)

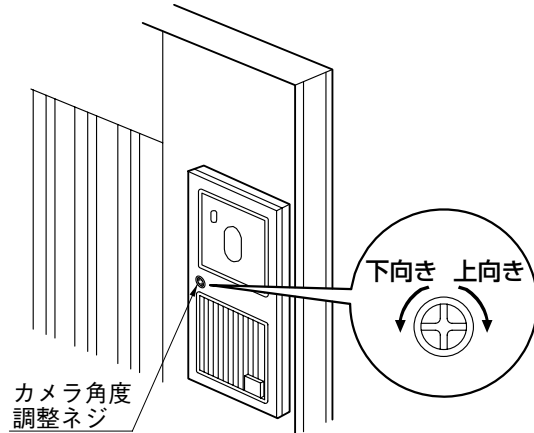


上図の場合の撮影可能範囲

| レンズ角度 | 撮影可能範囲 |
|-------------------------|--------------|
| 上向き15度 (右に回転して止まる位置) | 約164cm~189cm |
| 下向き5度 (左に回転して止まる位置) | 約139cm~164cm |

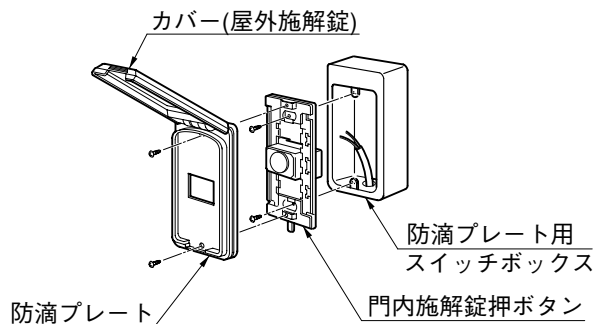
カメラ調整角度

カメラ角度調整ネジを回転させて、角度調整をしてください。



屋外施錠スイッチの取付方法

取付位置はG.Lより約1400mmにしてください。取付場所は、門の内側の操作しやすい場所に必ず取付けてください。



配線距離

| | 0.5mm ² または0.8mm | 0.75mm ² または1mm |
|---------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 操作ユニット~ シークレットスイッチ | 50m | 50m |
| インターホン親機~ ドアホン子機 | 100m | 100m |
| モニターテレビユニット~ カメラドアホン子機 | 50m | 75m |
| シークレットスイッチ~ 門内側施錠ボタン | 50m | 50m |

施工上のご注意

1. 落雷時の器具破損や、誤動作を防止するために、家屋から通電金具までの配線は架空配線をしなくて地中配線をしてください。
2. 門内施錠押ボタンおよび家屋から通電金具(4芯)までの配線および、増設する施錠スイッチの配線は100Vおよび200Vの配線と、接近して平行または交差させないでください。(平行させる場合には、50cm以上離してください。)また、埋込配線の部分は100Vおよび200V電源とは別配管にしてください。
3. 地中電線路の配管には、将来掘り起こすことがない場所を選んでください。
4. 配管距離が長い場合、また、曲がり角が2ヶ所以上になる場合は、ハンドホールを設けてください。
5. ハンドホール内で電線の接続は行なわないでください。
6. 配管内に水が侵入しないように、パテなどでふさいでください。

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- 御使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- 月に一度程度のお手入れで美しさが長く保てます。汚れの軽い場合は、水にぬらした柔らかいぞうきんで拭き取ってください。また汚れのひどい場合は、うすめた中性洗剤で拭き取ったのち洗剤が残らないように拭き取ってください。

取説コード

A084

IA-C①
200304D_1001